

2023 年度 (令和 5 年度)

学校評価自己評価表

大門	中学校区	校番 25	福山市立	大津野小	学校
最終更新日			2023年(令和5年)4月1日		

I 福山市 ミッション 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。
 ビジョン 「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。

II 中学校区

前年度学校関係者評価の主な内容	児童生徒の現状	育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)	課題発見・解決力 思考力・判断力・表現力 主体性・積極性 共感力
<ul style="list-style-type: none"> 子ども主体の活動を推進する。 毎月OPTの取組の成果がよくわかり、質の向上を期待しています。 学力向上及び体力の向上の取組はよくわかります。家庭や地域へ情報発信を期待しています。 業務改善により時間を生み出してください。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な内容の理解は定着してきているが、思考力・表現力が弱い。 自尊感情が高まりつつあり、主体的に行動する姿が見えてきた。 	めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)	自ら考え、学び、表現し、自尊感情の高い生徒
		中学校区とし統一した取組等	<ul style="list-style-type: none"> 子ども主体の学びに向けた授業を創り、思考力・表現力を高める。 レーダーチャート等を活用し、学級力や自尊感情、主体性を高める取組をする。(年3回アンケート実施) 学校における働き方改革を進める。

III 自校

ミッション					
見えない「人間の根っこ(学問・社会性)」を育てる					
学校教育目標					
大きく広げる知識 積み上げる伝統 のばす体力					
現状					
〈児童生徒〉 ○当たり前のこと(授業を大切にすること・気持ちの良い挨拶・無言掃除・思いやりのある行動)ができる児童が多い。 ○学級力や自尊感情が高まり、考えて行動できる児童が増えてきた。 △周りの状況を見て自分で判断して、行動できる力はまだ弱い。 △楽しみながら体力向上が図れるようになってきたが、児童の体力向上に課題がある。 〈授業〉 ○教科領域等の関連を図り、児童の疑問や問いを大切にしたい単元づくりを通して、児童の学習に対する意欲が高まってきた。 △教師の話をしっかり聞き、「わかる」「できる」と思える授業づくりを進めることが出来るようになってきたが、力が確実についているとは言えない。 △自分の考えを表現する授業に向けて取組をしていく必要がある。					
育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)	課題発見・解決力	思考力・判断力・表現力	主体性・積極性	共感力	
めざす子ども像	1・2年	自分で疑問や課題を見つけ、生活体験や既習事項をもとにして解決しようとしている。	生活体験や既習事項から順序立てて自分の考えを持ち、絵や言葉、動作などを駆使して表現している。	自分がやらなければならない勉強や仕事を進んで行っている。	身近な人に温かい心で接している。
	3・4年	疑問に思ったことから課題を設定し、生活体験や既習事項、収集した事項を根拠にして解決している。	生活体験や既習事項から理由や根拠をもとに自分の考えを持ち、絵や言葉、動作など適切な方法を選択し、表現している。	集団の中で、自分がやるべきことに気付き、進んで行っている。	相手の気持ちを考え、行動している。
	5・6年	疑問に思ったことから課題を設定し、生活体験や既習事項、収集した事項を根拠にして解決し、新たな課題を見つけている。	生活体験や既習事項から適切な理由や根拠をもとに、自分の考えを持ち、目的や意図に応じて、論理的に説明したり、適切な方法を選択したりして表現している。	集団の中で、相手や場の状況に応じて、自分でより高い目標を持ち、自分から行動している。	相手を思いやることの大切さに気付き、相手の立場を尊重し、行動している。
研究	教科等	国語科・算数科・特別活動			
	主題・内容等	自ら学びを深める児童の育成 ～「わかる」「できる」「学びが面白い」と実感する授業づくりを通して～			
めざす授業の姿	自ら課題を発見し、協働的に学び、学びに連続性のある授業 ・課題追究の手立てとしての「めあて」と「まとめ」、「ふり返し」のある授業 ・考えを明らかにする「自己との対話」、考えを広げ、深め、高める「他者との対話」のある授業				